

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・13〉	いわき市立夏井小学校
＜実施日＞	平成28年 7月 11日(月)	
＜実践教科等＞	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 (2) 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()	
＜実践内容＞	小学校低学年：学級活動「ほうしゃせん なにに気をつければいいの」	
1. 本時のねらい 放射性物質の存在を知り、放射性物質を体にたくさん取り込まないように、気を付けて生活しようとする。		
2. 学習の流れ 導入 「放射線」や「放射性物質」などの意味を考え、本時のめあてをとらえる。 めあて・ほうしゃせん なににきをつければ いいかな？ 展開 放射性物質から影響を受けないための方法について知る。 (1) 放射線や放射性物質の意味について知る。 小学生のための放射線副読本「放射線について考えてみよう」P.9参考 (2) 放射線教育用DVD「放射線のおはなし」を視聴し、放射性物質の多い場所や放射性物質を体に取り込まないために気を付けることを知る。 (3) ホットスポットについて知る。 具体的に身近なホットスポットを確認する。 終末 日常生活でこれから気を付けたいことを確かめ、本時のまとめをする。 ・放射線は、人から人にうつることはないが、ばい菌やほこりと 同じように、放射性物質を体に入れないように手洗いやうがいな どをしっかり行う。 ・ホットスポットに近づかない。 ワークシートを基に、放射性物質を体に取り込まないための方法を確認 させる。		
＜成果＞	・放射線や放射線物質の意味を理解してからDVD視聴させたことで、放射性物質を体に取り込まないための方法をより理解させることができた。 ・ホットスポットの意味を理解することにより、本校にはどんな所にホットスポットがあるのか関心を持つことができた。	
＜課題＞	・目に見えないものを理解させることは1年生の発達段階には難しいと感じた。 ・1年生にもわかるような専門家や講師の活用など実践していきたい。	
資料作成担当者職(講師)氏名	(高橋 香織)	学校電話番号(34-3226)

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先：kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)